

# 大雨と土砂災害にご注意

# 早めの対策と避難を



夏から秋にかけて、台風や前線の影響で大雨や洪水、土砂崩れなど自然災害が発生しやすい季節です。昨年

の8月には大雨の影響で釧路川の水位が上昇。五十石地区の一部に洪水が発生しました。また、今年の8月10～11日には1時間に65mmの猛烈な雨が降り、総雨量194mmと1974年の統計開始以来の



昨年8月の大雨時の五十石付近

最大値を更新しました。

100年に一度起こると言われる500mmの大雨が降った場合、釧路川が氾濫し、浸水による大きな被害が出る可能性があります。

水害から身を守るためには日頃の準備が大切です。この機会に災害対策について家族・地域の皆さんで話し合ひましょう。

## 大雨による

### 浸水に備えて

まず、浸水する前に避難することが大切です。(各地区の避難所は3ページを参照)大雨が予想される場合、テレビ・ラジオなどの気象情報や役場からの情報に注意し、避難勧告が出されたらすぐに避難しましょう。また、避難の指示が出ていなくても、危険

を感じたら避難しましょう。避難するときは次の点に注意してください。

- 小さな川でも急に水位が上昇する場合があります。河川には絶対に近づかない
- 避難するときは傘よりもカッパを着る
- 紐で締められる靴など、脱げにくく歩きやすい物を履く
- 冠水した場所は、足元が見えにくく冠水の影響でマンホールなどが開いてしまふなど、危険なため、棒を使うなど、足元を確認しながら歩く
- 車での避難はブレーキが利きにくくなったり、水の流れの影響で車ごと流されてしまふ危険があるので十分注意する

## 土砂災害に備えて

土砂災害警戒情報が発表された場合は異常が無くても避難することが大切です。土砂災害は突然発生します。次のような現象を発見したら、すぐに避難しましょう。

- 山鳴がする
  - 雨が降っているのに川の水位が下がる
  - 川の水が急に濁ったり、流木が混ざっている
  - 地面にひび割れができる
  - 沢や井戸の水が濁る
  - 崖に亀裂が入る
  - 小石が崖から落ちてくる
- 土砂災害は前触れが無く発生する可能性があります。どうしても避難が間に合わないときは、建物の2階や崖から離れている部屋などに避難してください。

## 避難所から帰宅したら

- 避難勧告が解除され自宅に戻ったら、家の安全を確認し、土砂崩れの危険がある場合は速やかに避難する
- 電線が切れ、家に触れている場合は感電する恐れがあるので、近づかず電力会社に連絡する

## 釧路川市街地区の氾濫危険水位・避難判断水位が変わりました

皆さんが安全・円滑に避難ができるよう、避難勧告発表の目安になる「氾濫危険水位」と「避難判断水位」の基準が4月10日から変わりました。

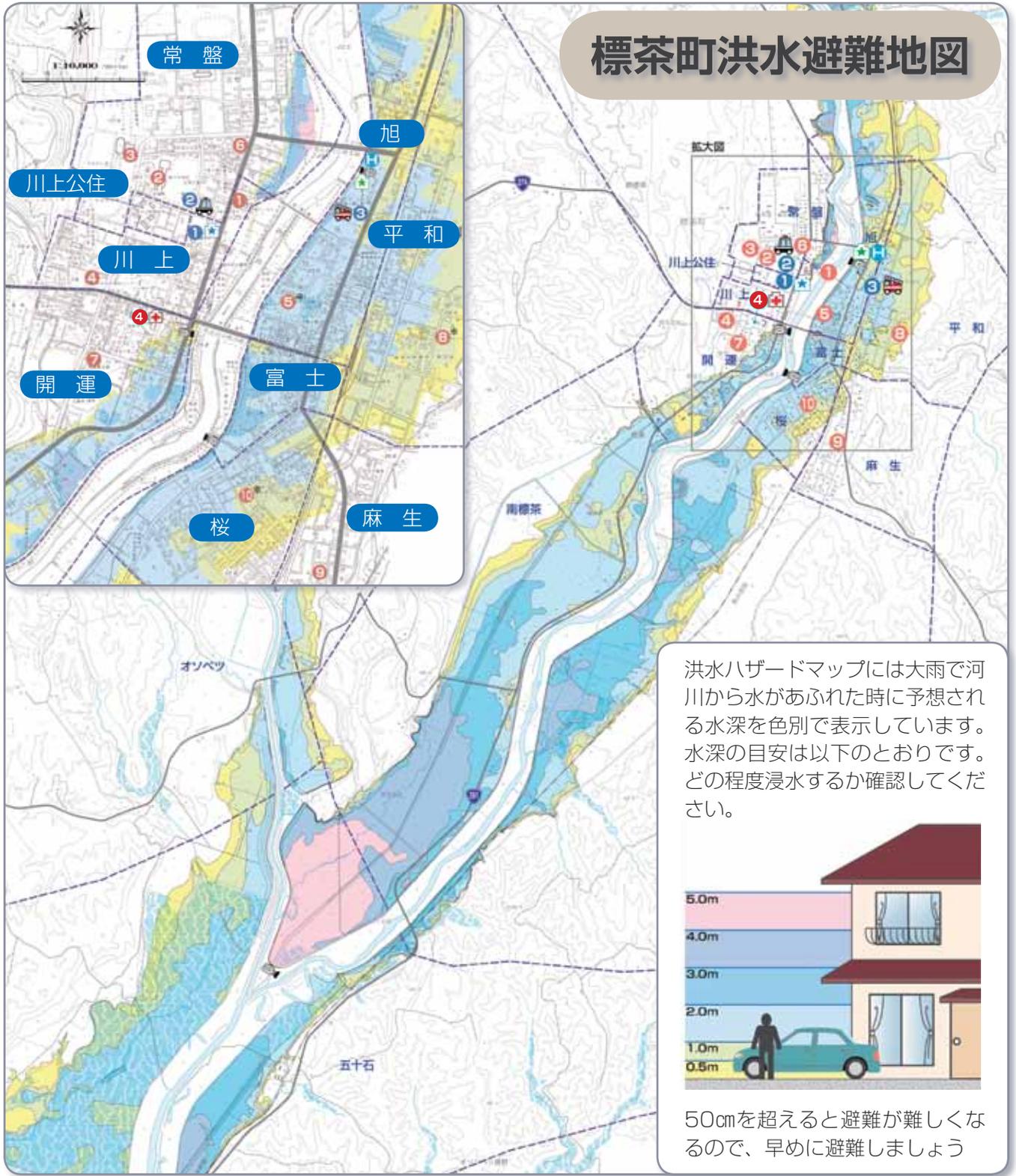
- 氾濫危険水位 22・9m ↓ 22・5m
- 避難判断水位 22・4m ↓ 21・8m

また、水位の上昇以外に、地面の侵食や漏水の危険がある場合にも避難指示が発表されるようになります。

避難勧告が発令されたら、速やかに避難所や安全な高い建物へ避難をしましょう。



# 標茶町洪水避難地図



## 避難所施設（洪水時）

番号	施設名	番号	施設名
①	標茶小学校	⑥	常盤コミュニティハウス
②	標茶中学校	⑦	開運コミュニティハウス
③	農業者トレーニングセンター	⑧	平和コミュニティハウス
④	社会福祉センター	⑨	麻生会館
⑤	開発センター	⑩	桜住民センター

**H** ヘリポート

## 緊急連絡先

①	標茶町役場 (☎ 485-2111)
②	標茶駐在署 (☎ 485-2151)
③	標茶消防署 (☎ 485-2021)

## 医療施設

④	町立病院 (☎ 485-2135)
---	-------------------